



二小建替えだより 第 3 号

新校舎建設工事が進んでいます

4 月 24 日から始まった新校舎建設工事ですが、現在は地下躯体工事を行っています。建物の基礎や地下部分の柱、梁、床、壁といった骨組み部分を施工しています。

工事に際しては、引き続き騒音・振動・粉塵等に細心の注意を払い、安全第一に作業を進めます。児童をはじめ近隣住民のみなさまの安全確保に努めますので、ご理解ご協力をお願いします。

5 月 2 日の様子（屋上から）



10 月 16 日の様子（屋上から）



掘削工事（6 月）



コンクリート打設工事（8 月）



桜の接ぎ木について

2021（令和3）年度より、二小の桜を継承する活動として、5年生の児童の総合的な学習の時間に、桜の接ぎ木の活動を行っています。

接ぎ木とは根の部分となる「台木」に、花や実を付ける「穂木」の枝や芽の部分を密着させてひとつに繋ぎ合わせる栽培技術です。今年は継ぎ目が密接するように、テープを活用して作業しました。

現在のところでは50本以上育っていて、うまくいったものについては、新しい校庭等に植樹する予定です。



既存樹木の仮移植の安全対策

「国立第二小学校学校改築マスタープラン」が示す実現したいイメージの一つである「樹木や芝生を大切にし 四季折々の自然が感じられる環境」の整備を目的として、伐採を予定している樹木の移植（掘り取り、仮移植）に関する協定書を「～つづく つながる～くにたち みらいの杜プロジェクト」様と締結し、5月3日から6日までの間、仮移植の作業を行っていただきました。

現在、二小保護者の方等から仮移植を行った樹木について倒木が心配である旨のご意見をいただいております。本件に関して、みらいの杜プロジェクト様より安全対策について以下の報告を受けております。

- 仮移植した樹木は、風倒木の危険を回避するため樹高を3から5mに剪定している。
- 既存の樹木を支柱に互いに支え合うように、あるいは自立するように構造物の筋交(耐震強化のために使われる斜めに渡す鉄骨)にあたる杉の原木支柱で支え、根鉢が動かないよう周辺には木杭を打ち込み、かつ樹木同士がスクラムを組むよう原木を斜めに渡し、番線(太い針金)で固定し、倒れにくい構造にしている。
- 敷地東側フェンスには触らないよう、仮移植帯は木杭と板でエリアを分ける。

また、一層の安全確保を図る観点から、7月23日に支柱の追加を行い、万が一の際の仮移植樹木の東側道路への倒木防止対策として、心配の声が届いている南側樹木、樹高が高い樹木、風のあおりを受ける等で道路側への傾きが懸念される樹木について、ワイヤー等にて学校敷地側に引っ張りを掛ける措置を8月30日に行っていただいております。引き続き、みらいの杜プロジェクト様とも協力し、適切な安全対策に努めてまいります。

発行・お問合せ

ご質問・ご意見などございましたら下記までお気軽にお問い合わせください。

国立市教育委員会 教育部 教育総務課 教育施設担当

電話：042-576-2111(代表) 内線 325 メール：sec_kyosomu@city.kunitachi.lg.jp